

脳科学講座 i n 大阪

テーマ：「音楽と脳」

講師：久保田 競先生

(京都大学名誉教授・医学博士)

日時：11月4日(土) 9時半～11時半

◆受付開始：9時15分 ◆講演：9時半～11時 ◆質問：11時～11時半

場所：エルおおさか

(5階第3研修室 入口の表示には学力研となっています。)

参加費：1000円(当日受付 事前申し込みは不要)

歌うことでことばの能力が高まる!

「運動はどうしても嫌」という人なら歌はどうだろう。音を聞いてそれを理解して、自分が歌えるようになるという過程が脳を鍛えてくれるそうだ。できるだけカラオケではなくアカペラで。音程やリズムを自分で考えて声を出した方が脳は活性化される。「歌手には話が上手い人が多いと思いませんか。歌を歌うことでことばの能力も高まっているということです」

子どもの能力を伸ばすという点から見ても「歌うこと」は重要なこと。音を聞いて理解する力がつくため、外国語を理解する能力が高まるそうだ。音楽つながりでいけばピアノもおすすめ。指先を動かすことで道具を使うことが上手くなり、字を書くこと、絵を描くこと、料理をすることなど、何かを自分で作り出す力、創造力がつくそうだ。

「インタビュー」金子えみ 脳科学の権威・京大名誉教授久保田競氏が勧める"脳にいい生活"

主催：学力研乳幼児教育部会・神戸おもちゃばこ

共催：久保田競脳学校